

☆安倍政権の本質

―目を覚まして本質を見よう―

「森友」文書改ざん事件とは

◆昨年二月、森友学園との国有地取引を説明した財務省文書が国会に示されました。政権からの働きかけがあったのではないかと、財務省が便宜を図ったのではないかと、疑惑が持たれたからです。

◆ところが、その一年後三月二日、朝日新聞のスクープによって、その文書は事態を隠蔽するため、財務省が内容が改ざんしていたことが明るみに出ました。つまり、財務省は一年間国民をだましてきたのでした。

◆そこで本物を出せと言われて、出しなおした文書は、何と一年前のものと同じものでした。国会も、国民もなめて（ばかにして）いるのです。

◆追求をかわしきれず、出してきた原本からわかった事は、前に国会に出したものは、都合の悪いところはことごとく消され、書き換えられ、抜き取られていたものでした。その文書数は十四、改ざん箇所は三百に及んでいます。

「森友」文書改ざん事件は政権の本質（正体）

◆森友問題が追及されていたところ、当時理財局長であった佐川宣寿氏は、「交渉記録は廃棄した」「電子データも消去されている」などと徹底的に事態を隠蔽しました。その功績を買われて昨年七月、佐川氏は国税庁長官に昇進します。

◆しかし、書き変える前の文書が明るみに出ると、佐川氏は僅か八ヶ月で辞任退職しました。一方、政治の中心にいる人たちは、佐川氏をトカゲの尻尾として切り捨て、自分たちは何一つ責任を取ろうとしません。これが現政権の正体です。

私たちは目覚めるときだ

◆佐川氏の証人喚問は実現したが、なぜ文書は書き換えられたのか、誰が指示したのか、八億円もの異常な値引きにはどんな圧力があつたのか、などについては、五十回以上の証言拒否にあつて、何一つ明らかになっていません。

◆私たちは今こそ、目覚めるときです。森友問題、加計学園問題に限らず、防衛省の日報隠し事件、文科省、厚労省の隠蔽、間違い問題など、政権全体に腐敗が広がっているのですが、支持率がまだ四十%近くあります。またすぐ忘れてしまう国民性を私たちは持っていないませんか？ 今こそ目覚めるときです。

二〇一八年四月八日（日）護憲平和行進（通算六一四回目）

★ 浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★ 月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

天網恢々疎にして漏らさず

天の網は広大で目があらいようだが、悪人は漏らさずこれを捕らえる。悪いことをすれば必ず天罰が下る意。(老子の言葉。広辞苑より)